

勤務医に対する情報発信のあり方について

- 本作業部会の開催趣旨と医師の働き方改革の勤務医への周知状況を踏まえ、次の2つを本作業部会における主な検討課題としてはどうか。

① 勤務医に対する医師の働き方改革の周知に資する情報発信内容の検討

勤務医の立場から見た医師の働き方改革の内容について、当事者目線で簡潔にまとめた「解説コンテンツ」の作成に向け、構成員の協力を得ながら検討を行う。成果物は、今後の制度周知を行う際の骨子として活用する。

② 医療現場において医師の働き方改革につながる行動変容を促す上での課題の抽出

勤務医の属性ごとの情報の選択行動や、行動変容を促す上での構造的な課題の分析を行い、属性ごとの課題を整理する。その際、関係者のヒアリングや医療機関の協力を得ながら検討を行い、その結果を踏まえて、どのようなアプローチ（発信する情報の内容・発信手法）が有効かを検討する。

検討課題① 勤務医に対する医師の働き方改革の周知に資する情報発信内容の検討

(論点例)

- 勤務医はどのような媒体から日々情報を得ているか
- 制度改正内容を分かりやすく伝えるための手法

検討課題② 医療現場において医師の働き方改革につながる行動変容を促す上での課題の抽出

(論点例)

- 自身の働き方に関する意識・考え方は、どのように形成されたか
- 自身の働き方について考える(考え直す)のは、どのようなタイミングか
- 働き方改革を進めるために、それぞれの属性(※)の医師にどのような行動変容を促すことが適当か
※地域、世代、診療科、医療機関における責任等
- 行動変容を促すために、各医療機関においてどのようなアプローチ・取組が効果的と考えられるか